



今月は9月に東京都立川市で開催された日本ボクシング協会が主催する「第6回ジュニア・チャンピオンズリーグ全国大会」U12の30キログラム級で優勝した泉小学校6年生の岡濱徳都さんを紹介します。

岡濱さんは格闘技が好きな父の影響で5歳から空手を始めました。そして4年生のときにキックボクシングを始め、1年間にアマチュアの大会でベルトを3本獲得しました。その後、憧れる那須川天心選手がキックボクシングからボクシングに転向したことを知るなどして、岡濱さんもボクシングに転向することを決意。普段はジムで1時間半練習し、自宅でも毎日1時間のトレーニングを欠かしません。「戦うのは楽



日本ボクシング協会主催 第6回ジュニア・チャンピオンズリーグ全国大会優勝

おかはま
徳都さん（西新町・12歳）

「いいです」と話す岡濱さんは、練習で自分より年齢や体重が上の選手にも臆することなく、拳を交わしています。また、練習や試合を通じて「いろいろな世代の人と仲良くなり、友達もできました」とボクシングの魅力も語っています。

岡濱さんは初めて出場した大会で初戦敗退を経験。「勝つために」との思いから自分のフォームや動きを見直すため、毎日の練習風景を撮影し、一つ一つの動作を確認することにしました。また、苦手なガードやジャブを繰り返し練習したり、ジムのコーチや先輩からアドバイスを受けたりするなどして技術面や精神面を鍛えていきました。

こうして迎えた今回の第6回ジュニア・チャンピオンズリーグ全国大会では、これまでの努力が実り優勝することができました。この優勝について岡濱さんは「キックボクシングで身に付けた足さばきや得意な右ストレートを生かしたことが、毎日練習を頑張ったことが結果につながりました」と振り返ります。

今後は『どんな相手にも勝てるように』を目標に、「中学校に進学して環境が変わっても続けていきたい」と話します。これからまたくさんの練習や経験を積み重ねながら、岡濱さんのボクシングへの挑戦は続きます。

来て！見て！ 図書館

と し ょ かん

● ● ● ● ● ● ● ●

開館時間

午前9時～午後7時

休 館 日

11月 5日(火)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

12月 2日(月)・3日(火)・9日(月)～19日(木)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

●市立図書館●

佐間3-24-7(「みらい」内)

TEL:556-4227

FAX:555-3770



図書館システムの更新に伴う休館について

図書館システムの更新に伴う機器の入替作業を行うため、次の期間は休館となります。なお、休館期間中の返却はブックポストをご利用ください。

▶休館期間 12月9日(月)～19日(木)

埼玉県推奨図書を展示します

埼玉県推奨図書30冊が埼玉県から寄贈されました。

▶展示期間 11月1日(金)～12月末(予定)

▶展示場所 図書館

市制施行75周年記念 第22回 大人のための朗読会

小説や絵本などの多様なジャンルの作品を皆さんにお届けする朗読会を開催します。

▶日 時 11月19日(火)午後1時30分～3時50分(午後1時開場)

▶場 所 みらい文化ホール

▶内 容 小説 日本婦道記より「梅咲きぬ」など、計7作品を朗読します。

▶協 力 行田朗読の会

▶そ の 他 申し込み不要

読み聞かせボランティア養成講座(基本編)

ボランティアとして読み聞かせの経験のない方や経験の浅い方のために、基本的な技術や知識を学ぶ講座です。

▶日 時 12月1日(日)・15日(日)・22日(日)午前10時～正午(全3回)

▶場 所 中央公民館第2学習室

▶講 師 小野寺りり子さん(おはなしボランティア指導者)

▶対 象 次の全てに該当する方
・ボランティア活動を希望する方
・3日間の講座に参加可能な方
・読み聞かせを学びたい、知りたい方

▶定 員 10人程度(先着順)

▶申し込み 11月6日(火)～22日(金)に行田市電子申請・届出サービス、直接、電話のいずれかの方法により図書館



行田歴史系 368

資料がかたる行田の歴史

68

忍沼と共にあった「ぬし」

来年の干支は「巳」蛇ですが、行田の街中に蛇の話が伝えられていたことをご存じでしょうか。

忍城本丸跡の東側には、かつて忍沼と呼ばれる広大な沼地が広がっていました。城があった時代には堀の一部として機能していたもので、郷土博物館に展示されている模型で幕末期の様子を見ることが出来ます。

大澤俊吉著『行田の伝説と史話』によると、昭和初期までこの忍沼には「沼のぬし」の大蛇が住んでいると言われていたそうです。「沼の葦が倒れているのは大蛇が通った跡だ」「沼で魚を獲っていたら大蛇が出てきたので逃げてきた」など、いくつもの話が記録されています。蛇は古くから水と結び付けられ、水神や水田耕作神として信仰されてきました。水に恵まれた行田のまちに蛇の言い伝えがあったこともうなずけます。とはいえ、例



昭和27年の忍沼(郷土博物館蔵)

えばニシキヘビのような本物の大蛇が当時生息していたとは考えにくく、信仰を背景にした想像力も働いていたと考えられます。

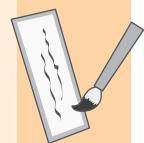
忍沼は、明治時代以降街の発展と共に少しずつ埋め立てられ、姿を変えてきました。特に大きな埋め立てが行われたのは大正10(1921)年です。忍町尋常高等小学校の校舎を建設するため、広い範囲が埋め立てられました。この場所には現在、市役所や産業文化会館が建っています。

ところで、この埋め立てには後日談があります。当時「沼と一緒にぬしを埋めてしまった祟り」で、小学校の遠足や運動会では必ず雨が降る」といううわさが広まったのです。埋められてしまう「沼のぬし」を見た人がいたか、本当に必ず雨が降っていたか、などを確かめることは今となっては困難ですが、蛇は雨を呼ぶ水神であり、粗末に扱うと悪いことが起きるに違いない、という共通認識を当時の人々が持っていたことがうかがわれるエピソードです。

忍沼は昭和40年代後半までにほぼ埋め立てられ、その一部が水城公園として現存しています。「沼のぬし」も生きたうわさ話の中ではなく、記録の中に登場するものになりました。

(郷土博物館 岡本夏実)

私の作品



俳句

門井町

宮田 淑尚

秋鯖やたつた五勺の酒に酔ふ

佐間

西岡 備中

歩いても歩いても土手ちゝろ啼く

藤原町

斎藤雄次郎

鶺鴒の夕日残りて辻踊

長野

牧 努

椎の実を焼いてはじける山の音

緑町

松林 真弓

秋の蝶壇輪の兵と野に遊ぶ

小見

三宅 典之

靴の中小さきバツタの雨宿り

忍

大澤 由子

蹲いの水面に遊ぶ秋あかね

須加

須加 信子

花終本音はそつと棘の中

持田

中野 華泉

老猫と元気に迎う敬老日

○俳句応募方法 一人3句以内。毎月末日(必着までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。